

2020

ぶうげん

びりあ

7
月号

No.322

ホームページ <http://www.hahashouchu.ogasawara.ed.jp/>

未曾有その4

校長 新 妻 茂

5月25日に新型コロナウイルス感染症に対する緊急事態解除宣言が出されましたが、小笠原村では慎重を期して来島自粛、上京自粛を6月も継続してきました。この間、6月2日には「東京アラート」が発出されましたが、感染者数が少なくなってきたことから11日にはそれも解除されています。しかし、その後の東京都の感染者数は数十名単位で一進一退が続いています。7月になって収束傾向が続けば、村としては400名の受け入れ体制を構築していきたいということですが、どうなるのか予断を許さない状況にあります。観光再開と感染対策をどう両立させるのか難しい判断を迫られることになりそうです。また、内地では都道府県をまたぐ移動の自粛が解除されていますが、これが第2波を招くのかどうか慎重に見極めなければなりません。

学校では、部活動が再開され、中学2年生の戦跡調査や小学3年生の小剣先山からの集落見学、小学4年生の乳房ダム見学等の校外学習も徐々に動き出しています。また、6月15日からはプールでの水泳指導も始まっています。内地の学校と比べると感染リスクは高くないという状況なので、このまま無事1学期が終わるのではないかと思います。

気になっているのはこの夏休みです。私も含めて多くの教職員が内地へ行きます。教職員には特段の用事がなければ8月19日には帰島するよう伝えてあります。児童生徒・保護者のみなさんの中にも内地へ行く計画をお持ちの方も多いと思います。ぜひ、感染症予防ガイドラインを守っていただいて、マスクの着用、手洗いの励行をしていただくようお願いいたします。また、いわゆる三密を避けていただいて自分の身の安全を図っていただくようお願いいたします。それから、これは教職員には伝達していることですが、万が一感染した場合でも感染ルートが明らかになるように、内地での行動記録をとっておくことをお勧めいたします。

2学期には延期していた中学3年生の修学旅行も予定されています。これが無事出発できるのかどうか判断をしなければなりません。また、学芸会も通常どおり実施できるのかどうか判断をすることになります。これらは無事2学期がスタートできるかどうか重要な判断のポイントになります。児童生徒・保護者、教職員、そして島民の皆様がこの“夏”を無事に乗り越えられることを願っています。

最後に私事で恐縮ですが、本来なら7月17日の終業式に立ち会わなければならないところですが、どうしても7月14日に広尾病院の眼科を受診しなければならないことから7月12日に出島させていただきます。帰島は7月22日になる予定です。児童生徒には一度病状を話したことがあります。左眼が加齢黄斑変性症になっています。14日の検査しだいでは、16日に硝子体内注射（眼球に注射をする）をしなければなりません。加齢黄斑変性症は確固たる治療法が確立されているわけではなく、網膜の浮腫を極力抑えるために抗VEGF薬を硝子体に注射するという方法がとられています。

返還記念日、母島小中学校開校記念日が過ぎると母島には本格的な“夏”がやってきます。いつもと違う“夏”ですが、なんとか全員のかで無事乗り切りたいものです。

昨年度の担任から「いい子たちですよ」と言われ引き継いだ新5年生。「いい子」という言葉をどう解釈したものかと思案しながら、気持ちも新たに、少し遅れた新年度のスタートを切りました。果たして5年生は、ふたを開ければ元気いっぱい。なかなかの個性派ぞろいで、毎日笑いが絶えません。楽しい日々を送っています。

私は算数を教えるのが好きなのですが、算数の授業が近づくとだんだんクラスの空気が重たくなっていくのを感じます。はじめの方こそ私に気を遣ってにこにこ振る舞っていましたが、最近では露骨に嫌な顔をする児童も……算数に苦手意識がある子が多いようです。

学問には、それぞれの魅力があると思っています。私は、算数の面白さをよく知っているつもりです。「得意になれ」とまでは言わないけれど、「面白さを知ってほしい、好きになってほしい」という気持ちがあります。それをどう伝えていくかは、まさに教師の腕の見せ所だと思っています。5年生みんなが「算数って、けっこういいよね」と言えるようになるまで頑張ります。

また、私は昨年度、6年生の担任でした。児童の前では決して口にしません、やはり高学年としての姿を重ねて見てしまいます。昨年度の5年生だった今の6年生も、やはり6年生になれば頼もしいもので、こんなに成長したんだと驚嘆する場面がところどころ見られます。高学年になったばかりの5年生のみんなは、もちろん、まだまだその域までは行きません。この先どのような力が備わっていけばよいのか——今から計画的に伝えていきたいと思っています。

きっと振り返ればあっという間なのかもしれませんが、まだまだ始まったばかりです。充実した1年間にしていければと思っています。

「密」な心の時間に

「心の時間」という言葉。時間の感じ方は人それぞれに違うということを表す造語です。小学6年生の国語の教科書に出てきます。私にとって、この1学期はあっという間でした。瞬く間に過ぎた心の時間の中でも、子供たちの頑張りをたくさん見ることができ、とても濃い、「密」な1学期となりました。

普段の学習に一生懸命です。国語での提案文、社会での歴史新聞、総合での外国新聞、外国語でのポスターなど、たくさんの作品を丁寧に作っています。中には、コンピュータを使って制作したものもあります。レイアウトや色遣いなど、読む人にとって分かりやすいように工夫を凝らしています。完成した作品は、誰かに見せるということ意識して、全員が張り切って作りました。学習発表会をぜひ楽しみにしていただければと思います。

学習だけではありません。集会に向けて、どの委員会も頑張っていました。昼休みの度に、それぞれの委員会で集まり準備を進めていました。最高学年として提案する姿、下級生に指示を出す姿がとても頼もしいです。また、クラブ活動では、それぞれの子供がアレンジを考えて発表しました。下打ちにうまく上打ちを合わせられるよう、試行錯誤しながらリズムを組み合わせ、発表に臨みました。最高学年ともなると、打ち方にそれぞれの個性が現れ、見ている人を釘付けにする発表になりました。

あっという間の1学期。2・3学期は、さらに時が加速することでしょう。それぞれの子供たちにとってもより「密」な心の時間を感じられるよう、卒業に向けて1日1日を大切に、これからも全員で歩みを進めていきたいと思っています。



私たちのクラスを、もっとも的確な言葉で言い表すとすれば、それは「絆」です。そして、この絆は、健康や信頼、クラスの決まりごとなど多くのことに支えられて成り立っています。日々の学級活動や生徒会活動、他学年とのグループ活動などの場面で、4月にはまだ慣れていなかった「よく学び、よく遊び、よく働く3年生」へと少しずつ変化している様子に、担任として頼もしさを感じます。

中学校3年生としての1年間は、自らの進む道を考える1年間でもあります。進路学習では、自分の力を知ること、これから出て行く社会を知ること、そして社会で求められる「当たり前」と「ありがとう」を感じとる目と実践できる精神を鍛えることに取り組んでいます。6月には（おそらく日本で一番早く）入試用自己PRの文章を考えました。母島での人生をいざ書き起こしてみると、アピールしたいことが多すぎて枠に収まりません。この島で生きてきた経験の一つ一つが、今の自分の「良さ」に繋がっていることを実感した瞬間でしょう。私が面接官ならば、思わずほだされて合格にしてしまいそうなほど、濃い人生を歩んでいる島の生徒がうらやましいくらいです（実際はそれだけで合格を勝ち取るのは難しいですが・・・）。

今の母島中学校3年生は1人の学級です。それでも毎時間の黒板整備や予定表の確認などは、先生が気付く頃には手早く終わらせてくれています。更にはどんな仕事も誇りをもってこなす姿から、母島の最高学年としての存在感がますます磨かれていく毎日です。もはや担任の私が面倒を見られていると揶揄されてしまうことさえあるほど。こんなクラスに誰が・・・。

この学級で生徒が学んでいることは、極めて希少でかけがえのないものだとは私は思っています。生徒は島の環境や社会情勢の変化に翻弄されながらも、この教室で笑い、学び、遊び、働き、昨日よりも良い自分へと日々進化しています。こうして生徒が美しく育っていく姿（たとえ1人でも前へ前へと進もうとする姿）に、人が成長するたくましさ、生きる力を感じ、私は時折心を打たれることさえあるのです。教室からは、たくさんの愛情を受けているからこそ出る自然な「ありがとう」が今日も聞こえてきます。ささやかなよろこびをクラス全員で分かち合うことができるのは、私たちのクラスにだけ与えられた、うばわれることのない唯一の特権です。

最後に、本来であれば5月に行われる予定だった12泊13日の長く楽しい修学旅行の思い出を、このページいっぱい書き留めるところでした。しかし、感染症の猛威はすさまじく、人生に1度のイベントでさえ「延期」せざるを得ませんでした。学校行事が無く、村のイベントもない今日この頃。この1ページを通して、私から村の皆様にお伝えできることは、「イベントがなくても結構楽しくやっていますよっ！」ということです。

7月の生活指導

生活目標

「1学期を振り返り、
目標を立てよう」

- ・1学期を振り返り反省をしよう。
- ・夏休みの計画をしっかりと立てよう。
- ・2学期に向けて新たな目標を立てよう。

安全指導 6日(月)

「安全に気を付けた遊び方」が重点目標です。

夏休みの前に、つりや磯遊び、海水浴、花火など楽しい遊びの中に潜む危険性について考えさせ、約束を守り、安全に行動できるように指導します。

避難訓練 3日(金)

地震が発生した場合を想定した避難訓練を各学級で行います。身近な場所の危険な箇所について考え話し合わせます。「危険探し」の活動を通して、突然の強い揺れから、瞬時に自分で命を守る判断ができることを目標に行っていきます。

平島校外学習(小4,5)・移動教室(中1)について

新型コロナウイルス感染防止の影響で延期されていた、平島の校外学習(小4,5)と移動教室(中1)の日程は次のようになりました。

校外学習(小4,5)→9月15日(火) 予定
移動教室(中1) →9月 3日(木)

※新型コロナウイルス感染拡大の状況次第では変更もあります。

夏休みの図書室開放

本年度の夏季休業中の母島小中学校図書室一般開放は7月20日(月)からとなります。

開放期間：7月20日(月)～8月7日(金)
8月17日(月)～8月26日(水)
(土、日は除く)

※8月11日(火)～14日(金)は学校閉庁日でお休みとします。

開放時間：午前9時00分～午後12時00分
午後1時30分～午後4時30分

※上履きをご持参ください。

※職員に一声かけてからのご使用をお願いします。

小学校サマースクール

期間 8月24日(月)～8月25日(火)

登校 午前8時25分

時間 午前8時30分～9時30分

小学校 夏季水泳教室

前期 7月20日(月)～7月21日(火)

登校 午前8時25分 **下校** 午前10時00分

後期 8月24日(月)～8月25日(火)

登校 午前9時45分 **下校** 午前11時20分

※時間に余裕をもって、安全に登校するようにしてください。前期と後期で登校時間が異なります。ご確認をお願いいたします。

7月の主な行事予定

					16	木	大掃除・周辺美化
1	水	開校記念日			17	金	終業式 午前授業 読書月間終 英検
2	木				18	土	夏季休業日始
3	金	避難訓練			19	日	
4	土				20	月	(小)前期夏季水泳教室始 図書室開放始
5	日				21	火	(小)前期夏季水泳教室終
6	月	朝礼	安全指導	個人面談始	22	水	
7	火			SC在島	23	木	海の日
8	水			SC在島	24	金	スポーツの日
9	木				25	土	
10	金				26	日	
11	土				27	月	
12	日				28	火	
13	月	保健指導			29	水	
14	火			個人面談終	30	木	
15	水				31	金	

